

2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る申告書（分野参考様式第6-3号）（記載例）

＜建設キャリアアップシステムの技能者情報に必要な実務経験が全部蓄積されていない場合＞

この様式「2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る申告書」「別紙経歴証明書」「建設キャリアアップシステム画面の写し」を提出してください。

記載例

必要実務経験が全て蓄積されていない場合

分野参考様式第6-3号（特定技能外国人）

●●●●年 ●月 ●日

2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る申告書

出入国在留管理庁長官 殿

申請者
 氏名 ●●●●
 性別 男
 国籍・地域 ●●●●
 生年月日 ●●●●年 ●月 ●日

建設分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験については下記のとおりです。

記

○建設キャリアアップシステム（以下CCUSという）の技能者情報に必要な実務経験が蓄積されている場合

① 申請する業務区分に対応する職種	とび工
② CCUSにおける技能評価基準の呼称（以下、呼称）	とび
③ ①、②で選択した職種及び呼称のCCUSの技能者情報に基づく就業日数（職長+班長）	3月（38日）

(注意)
 1 実務経験申告の前に、以下ア〜ウについて、国土交通省ホームページ掲載の資料をご確認ください。
https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/content/001499418.pdf
 ア 2号特定技能外国人の業務区分に対応するCCUSの能力評価基準がある職種について
 イ 2号特定技能外国人に求める実務経験として各職種に必要な就業日数について
 ウ 実務経験の確認書類について

2 ③には実務経験に必要な就業日数以上（記載例：1年（215日）以上）であることを確認して記載すること。CCUSのレベル判定を受けている場合は「能力評価（レベル判定）結果通知書」のレベル3以上のものの写しを添付すること。CCUSのレベル判定を受けていない場合は、CCUSにおける就業日数の表示画面の写しを添付すること

○CCUSの技能者情報に必要な実務経験が全て蓄積されていない場合

④ ①、②で選択した職種及び呼称の経歴証明書に基づく就業日数（職長+班長）	392日
---------------------------------------	------

(注意)
 3 ③と④の合計が実務経験に必要な就業日数以上であることを確認して記載すること。また、③についてはCCUSにおける表示画面の写しを添付し、④については、別紙経歴証明書を添付すること。

2号特定技能を申請する外国人の情報を記載すること。

「建設分野の2号特定技能外国人に求める「建設現場において複数の建設技能者を指導しながら作業に従事し、工程を管理する者（班長）としての実務経験」について」および表「能力評価の対象職種別一覧 建設分野の2号特定技能外国人に求める実務経験」を確認し、2号特定技能として申請する業務区分に対応する建設キャリアアップシステムの能力評価基準のある職種（小分類）、技能評価基準の呼称を記載すること。

能力評価基準の設定のない職種の場合は記載不要

職種（小分類）、技能評価基準の呼称、能力評価基準のレベル3に対応する必要な就業日数（職長及び班長）は表「能力評価の対象職種別一覧 建設分野の2号特定技能外国人に求める実務経験」下図の赤枠部分でご確認すること

能力評価の対象職種別一覧 建設分野の2号特定技能外国人に求める実務経験					
建設キャリアアップシステムにおける技能者登録上の職種コード（能力評価基準のある職種のみ）		必要実務経験			特定技能業務区分
大分類コード番号及び大分類	小分類コード番号及び小分類（※就業履歴の職種対象となる職種分類）	技能評価基準の呼称	能力評価実施団体	能力評価基準のレベル3に対応する必要な就業日数（職長及び班長）	
06	とび工	とび	日本建設労働工事単団体連合会 日本木工事連合会	2年（430日）以上	土木/建築
	とび	とび	日本建築建設協会	1年（215日）以上	
06	足場とび工	足入	全国足入協会	1年（215日）以上	建築
	足場とび工	解体	全国解体工事単団体連合会	2年（430日）以上	

建設キャリアアップシステムの技能者情報に蓄積された就業日数（職長+班長）を記載する。

建設キャリアアップシステムの技能者情報に蓄積されていない期間について、分野参考様式第6-3の別紙経歴証明書にて誓約した就業日数（職長+班長）を記載する。

<建設キャリアアップシステムの技能者情報に必要な実務経験が全部蓄積されていない場合（分野参考様式第6－3号別紙経歴証明書）>

別紙

記載例

●●●●年 ●月 ●日
経歴証明書

出入国在留管理庁長官 殿

証明者
 事業者名 ●●●●
 役職名 ●●
 氏名 ●●●●
 建設キャリアアップシステム事業者 ID
 ●●●●●●●●●●●●

下記に示す申請者の建設分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針に規定する2号特定技能外国人に求められる実務経験のうち、建設キャリアアップシステムに蓄積されていない就業日数については下記のとおりです。

記

(1) 申請者

氏名	●●●●
建設キャリアアップシステム技能者 ID	●●●●●●●●●●●●●●●●
申請する業務区分に対応する職種	とび工
技能評価基準の呼称	とび

(2) 職長、班長としての就業日数

	就業期間	就業日数
①	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	200 日
②	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	92 日
③	●●●●年●月●日～●●●●年●月●日	100 日
	合計	392 日

※必要に応じ行を追加すること。
 ※転職や離職などによって職長、班長として就労していない期間がある場合は、就労していた期間ごとに入力すること。

誓約欄
 この証明事項に事実と相違がある場合には、在留資格が取り消されても異存の無いことを誓約いたします。

申請者氏名 ●●●●

経歴を証明する期間に所属していた事業者の情報を記載すること。

注意：転職により複数の会社に勤務した実務経験を合算したい場合は、勤務先ごとにこの用紙を作成し提出すること

2号特定技能を申請する外国人の情報を記載すること。

能力評価基準の設定のない職種の場合は記載不要

建設キャリアアップシステムの技能者情報に蓄積されていない期間について、就業日数（職長+班長）を記載すること。

2号特定技能を申請する外国人の氏名を記載すること。

建設キャリアアップシステムにおける表示画面の写しの提出方法について

分野参考様式6-3号「2号特定技能外国人に求められる実務経験に係る申告書」に添付する書類については、以下(1)から(3)までの全てとする。文字や数値が確認できる鮮明な写しに限るが、白黒印刷を可とする。

(1) 申請者本人の情報であることについて確認できる画面の添付

建設キャリアアップシステムに技能者権限でログインし、メニュー欄の310 閲覧>10 技能者情報から表示される本人情報のうち、「技能者氏名」「生年月日」「就業日数」が確認できる箇所の画面の写しを添付する。(以下は一例)

本人情報			
ID		1234567891234	<input type="checkbox"/>
技能者氏名フリガナ		コクド タロウ	<input type="checkbox"/>
技能者氏名		国土 太郎	<input type="checkbox"/>
Name		-	<input type="checkbox"/>
通称名		-	<input type="checkbox"/>
生年月日		1991/1/1	<input type="checkbox"/>
本人確認書類	あり	年齢	31 歳
技能レベル	1 (白) 2021/03/22~	性別	男
建退共加入の有無	無	血液型	B
就業日数	2,001	現住所	〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
就業履歴数	2,001	電話番号 (自宅)	
非計上の就業履歴数 (元請現場未承認)		電話番号 (携帯)	-
		FAX	-

※赤枠部分を確認できるように添付すること。

(2) 就業日数（職長+班長）について確認できる画面の添付

メニュー欄の 310 閲覧>10 技能者情報から表示される本人情報のうち、「就業日数」をクリックして表示されるポップアップ画面の写しを添付する。

※職長・班長それぞれの就業日数及び就業日数合計を確認できるように添付すること。（以下は一例）

The screenshot shows a user profile page with a modal window titled '就業日数' (Employment Days). The modal window contains the following table:

就業日数	立場選択による就業日数	
	職長選択	班長選択
2,001	1,001	1,000

The main profile page shows the following information:

建退共加入の有無	無	血液型	B
就業日数	2,001	現住所	〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
就業履歴数	2,001	電話番号 (自宅)	
非計上の就業履歴数 (元請現場未承認)		電話番号 (携帯)	-
		FAX	-

※赤枠部分を確認できるように添付すること。

※ポップアップ画面の就業日数が原画面の就業日数と一致していることを確認できるように添付すること。

(3) 申請する職種についての確認画面の添付

メニュー欄の 310 閲覧>10 技能者情報から表示される本人情報のうち、「就業履歴数」をクリックして表示されるポップアップの画面の写しを添付する。(以下は一例)

※申請する職種が確認できるように添付すること。

The screenshot shows a user interface with a sidebar menu on the left and a main content area. A popup window titled '就業履歴数' (Employment History) is displayed in the center. The popup contains two tables of employment history data.

2024年4月1日以降 (From April 1, 2024)

職種	就業履歴数	能力評価に活用できる就業履歴		
		立場選択による就業履歴数		班長
		職長選択	職長	
06-01 とび工・とび工	●	●	●	●
集計	●	●	●	●

2024年3月31日以前 (Before March 31, 2024)

職種	就業履歴数	能力評価に活用できる就業履歴		
		立場選択による就業履歴数		班長
		職長選択	職長	
06-01 とび工・とび工	●	●	●	●
集計	●	●	●	●

The red boxes in the original image highlight the '06-01 とび工・とび工' rows in both tables, specifically the '班長' (Foreman) column which contains a black dot, indicating that this job type is eligible for application.

※赤枠部分を確認できるように添付すること。